

発表3

地域健康プランナー



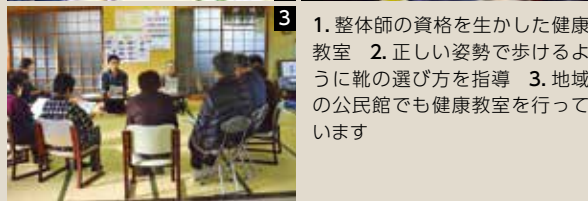
北里嘉幸さん

- ▼主な業務 健康づくり推進活動
- ▼所属 健康推進課

市民の生活習慣病予防のための運動と食事の取り組みである「いきいきネットワーク」事業や、公民館などの既存施設を活用し、自分でできる健康づくりに取り組む「健康教室」の活動を報告しました。

温泉利用指導の資格を生かし、温泉旅館や運動施設などを活用した本市ならではの取り組みを検討し、温泉利用型健康増進施設として認定してもらえる事業を進めたいと語りました。

その他、自転車を活用した健康づくりとして「散



1. 整体師の資格を生かした健康教室
2. 正しい姿勢で歩けるように靴の選び方を指導
3. 地域の公民館でも健康教室を行っています

「走」というキーワードを掲げ、散歩のようにゆっくり楽しく街中や自然の中を散策する新しい健康づくりを提案しました。

活動中間報告会



地域おこし協力隊の活動中間報告会が11月17日、市役所大会議室で行われました。平日にも関わらず、会場には菊池市議会議員、市民団体、高校生、市職員など約80人が来場。質疑応答も活発に行われ、協力隊の活動に対し大きな期待が寄せられています。

これまで毎月隊員の紹介や活動内容をお届けしてきましたが、今回は中間報告の内容をお伝えします。隊員の活動内容は今後もシリーズで定期的にお伝えしていきます。

問い合わせ先 企画振興課 ☎0968(25)7250

癒しの里コーディネーター



一ノ瀬萌子さん

- ▼主な業務 森の中のまちプロジェクト、日本一のホテル王国プロジェクト
- ▼所属 企画振興課

街中の空き地に樹木や花を植えて、癒やしの空間をつくる「森の中のまち」プロジェクトの進捗を報告。地元住民への説明会で空き地募集の呼びかけや植樹後の維持管理に協力していること、住民の意見を吸い上げ、より良い管理方法を模索していると発表しました。

「日本一のホテル王国」プロジェクトでは、七城小学校の中庭にピオトープを作ってホテルを育てる取り組みや、東海大学教授を招いて行われた戸崎小学校の水質調査などを報告。数十年後を見据え、子どもたち



1. 住民説明会で意見交換
2. キクチノ和ではさまざまなイベントを実施し菊池ファンを増やしています
3. 積極的に現地を歩いて菊池の癒やしを探求

の疑問に答えられる指導者の育成が必要と訴えました。そのほか、まちおこし団体「キクチノ和」によるフォトツアーやファッションショーの取り組みを披露。市外から遊びにきてもらうには、まず自分たちが楽しむことが大事と説明しました。

移住・定住コンシェルジュ



村上貴志さん



鈴木良和さん

- ▼主な業務 移住・定住促進
- ▼所属 集落・定住支援室

空き家、空き地、空き店舗の情報収集活動や空き家バンク制度、菊池市移住・定住ガイドブックの紹介、東京であった移住相談会などの取り組みを報告。本市へ移住を促進するためには、もっと市の魅力を市外に発信することが必要だとして、フェイスブックなどSNSでの情報発信、さらに視覚的に分かりやすい動画での情報発信を心がけています。

個々の取り組みとして、村上隊員は、専修大学、鹿屋大学、相模女子大学の先生を招き、女性アスリート



1. 移住相談会は移住者の目線に対応
2. 「自分でもできる修繕方法」をコンセプトに開催した空き家改修ワークショップ
3. 参加者に好評だった移住体験ツアー

の体と栄養の仕組みをワークショップ形式で学ぶ「女性アスリートコンディショニングセミナー in 菊池市」の事例を報告。鈴木隊員は、古い空き家の改修を地元の大工から学ぶ「空き家改修ワークショップ」の活動を報告しました。

文化創造プランナー



岩下卓利さん

- ▼主な業務 イベント企画・映像制作
- ▼所属 企画振興課

龍門小学校跡地を活用し、和をコンセプトにしたクリスマスイベント「龍門くりすますまつり」による地域活性化の取り組みや、松倉邸を活用した市民向け映像制作教室、菊池市の魅力発信のための映像制作について報告しました。

映像制作教室は、今後市民を対象に広く展開していく予定で、最終的には市民と一緒に市のプロモーションビデオの制作を目指しています。



1. 映像制作教室では、住民ディレクターを講師に招き映像の編集方法を学びました
2. イベントの企画・運営を地域住民と一緒に考えます
3. 12月に開催した「龍門くりすますまつり」のツリー。多くの来場者でにぎわいました

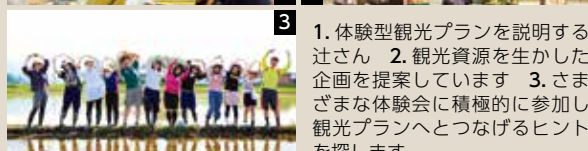
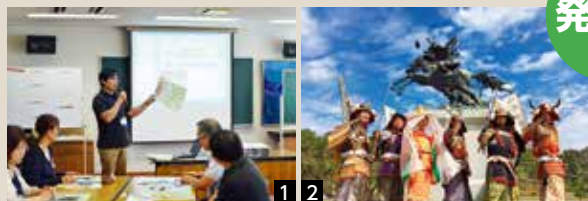
観光プロモーター



辻博之さん

- ▼主な業務 観光誘致、観光企画
- ▼所属 商工観光課

これからの菊池の観光振興には外国人観光客の誘致が重要と報告しました。東京オリンピックの開催を見越し、台湾などアジアからの観光客誘致に力を入れるべきと提言。受け入れ体制を整えるために、外国語対応の案内看板の設置、外国語観光パンフレットの作成、観光施設へのWi-Fi設備の設置、宿泊施設の従業員が日常のコミュニケーションを取れる程度の言語習得が必要と説明しました。



1. 体験型観光プランを説明する辻さん
2. 観光資源を生かした企画を提案しています
3. さまざまな体験会に積極的に参加し観光プランへとつなげるヒントを探します

リピーターを増やすためには市民全体でおもてなしの心を持つことが重要とも説明。観光客の受け入れ体制を充実させ、観光客の増加による経済の活性化を図りたいと抱負を述べました。